

	<u>ウ ラ ナ ミ シ ジ ミ</u> <u>Lampides boeticus</u>
種名	
分類	ジャノメチョウ科
形態	前翅長 13～18mm。裏面の地色は褐色、縦のさざ波模様があり、後翅の亜外縁に白帯をもつ。後角には黄色斑がある。♂の翅表は青紫色、♀は外縁の黒褐色帯が幅広く、基半部は青紫色。低温期のものは、裏面の地色が暗くなる。
分布	本州（関東以西）、四国、九州、南西諸島。小笠原諸島。北海道、本州東北地方でも記録はあるが、土着しているのは、房総半島以西の温暖地に限られる。秋には移動個体が多く見られ、一時的に世代交替する。
出現期	本州の土着地では年6回ほどの発生、冬期にも成虫が羽化することがある。特にきまった越冬態をもたない。非土着地でも毎年見られるが、越冬できずに死滅することが多い。沖縄島以南では、ほぼ周年発生を繰り返す。
生態	マメ類を栽培している畑や海辺、市街地の公園や庭など、開けた明るい環境に棲む。成虫は移動性があり、高山帯や樹林帯にも飛来する。ハギ類などのマメ科植物やセイタカアワダチソウで吸蜜、群がることが多い。地上で吸水する。食草の周りを素早く驚かされ、ほとんど休みなく飛び続ける。
食樹	マメ科のフジマメ、エンドウ、ハギ、クズなど多くのマメ類。栽培種、野生種を問わず食草とする。花や実をおもに食べる。
幼虫 （幼生期）	体長 17mm。緑色で、褐色の斑紋がある。
出現時期	(月) — — — — 5 6 7 8 9 10 11 —
その他	

参考文献：検索入門 渡辺康之著 チョウ